

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金
-------------------	----------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	2	高齢者福祉の確立
小分類	3	介護サービスの充実
主要な施策	5	質の高い介護サービスの展開
事務事業番号	003	事務事業コード 13235003 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 2 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金
------	------	------------	---------------------

部 名	保健福祉部	グループ名	高齢・介護 G
-----	-------	-------	---------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 既存の認知症高齢者グループホームにスプリンクラー設備を設置するグループホーム開設者 ・医療法人社団 千寿会 ・医療法人社団 上田病院 ・医療法人社団 倭会 ・有限会社 グッドライフ
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 平成 1 9 年 6 月の消防法施行令改正(施行日:平成 2 1 年 4 月 1 日 経過措置:平成 2 4 年 3 月 3 1 日)に伴い 認知症高齢者グループホーム等小規模福祉施設について、スプリンクラー設備の設置が義務付けされたことにより 設備整備事業を行うグループホーム開設者に対し、その費用の一部を地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金 (国庫補助)を活用し、費用負担を軽減する。 補助額 対象施設延べ床面積 1㎡当たり 9千円 平成 2 1 年度整備(補助額) 施設の名称 延べ床面積 高齢者グループホームプラタナス三愛 6 5 3㎡ x @9千円 = 5, 8 7 7千円 医療法人社団上田病院グループホームあいあい 7 5 2㎡ x @9千円 = 6, 7 6 8千円 医療法人社団倭会グループホームしづく 7 4 5㎡ x @9千円 = 6, 7 0 5千円 計 1 9, 3 5 0千円 平成 2 2 年度整備(補助予定額) 施設の名称 延べ床面積 グループホームアウル登別館 6 9 7㎡ x @9千円 = 6, 2 7 3千円
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 火災の発生に伴い自力で避難することが著しく困難な要介護者が入所する市内の認知症高齢者グループホームに スプリンクラー設備が整備され、防火安全対策が強化される。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 地域における公的介護施設等の計画的な整備等の促進に関する法律 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金及び地域介護・福祉空間整備推進交付金実施要綱

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	既存の認知症高齢者グループホームにス プリンクラー設備を設置。	施設	目標値	3	1			
			実績値	3				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金	千円	19,350	6,273				0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円						0
合 計				19,350	6,273	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	165	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		165	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である	→
		妥当ではない	
		妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？	既存の認知症高齢者グループホーム開設者に対し、スプリンクラー設備整備費用の一部を補助することにより、防火安全対策が強化されるため。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている	→
		どちらかといえばあがっている	
		成果があがらない	
		成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？	既存の認知症高齢者グループホーム4施設のうち3施設において、スプリンクラー設備が整備され、防火安全対策が強化された。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる	→
		少し向上させることができる	
		向上させることはできない	
		どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？	スプリンクラー未整備の1施設についても、平成22年度に整備予定となっている。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる	→
		削減できない	
		どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？	補助金（全額国庫補助）のみの予算計上であり、また人工、所要時間についても最低限の事務量となっている。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	既存の認知症高齢者グループホーム開設者に対し、スプリンクラー設備整備費用の一部を補助することにより、防火安全対策が強化されるため。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）